

ポンプ消耗部品交換手順書

< V6-D >

(株)扶桑工業

1. プランジャの交換要領

部品の交換前にポンプ本体の土、泥等の付着物を綺麗に洗浄して下さい。

(1) ギヤケース部とシリンダ部の分離

1) ポンプに接続されている、サクションホースとデリバリーホースを外します。

2) シリンダケースとベースをつないでいる
ボルト (W1/2×20 平21) 2本
を外します。

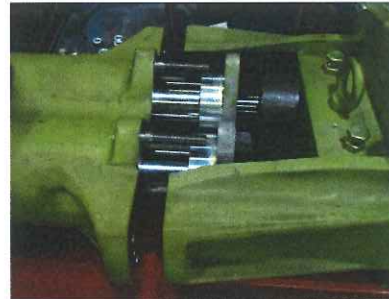
3) スパイラルパッキンを締め付けている
パッキングランドの
ナット (W1/2) を緩めます。



4) Vプーリを手で回し2本のプランジャをそれぞれ1往復以上させ、スパイラルパッキンの締め付けを開放して下さい。

5) ギヤケースとシリンダの接続ボルト4本
(W1/2×65 平21) を外し、テーパ
ピンをギヤケース側からシリンダ側へ
叩いて抜きます。

6) シリンダ部をベース上から外し
安全な場所に移します。



(2) プランジャとスパイラルパッキンの交換

- 1) ジョイントボルトに丸棒を差込み、回転を押えながらベアリングナットに引掛スパナを掛け、左に回し緩めて下さい。



丸棒: $\phi 8 \times 200\text{mm}$ 程度

- 2) ジョイントボルトに丸棒を差込み、回転を押えながらプランジャに引掛ピンスパナを掛け、左に回し外して下さい。



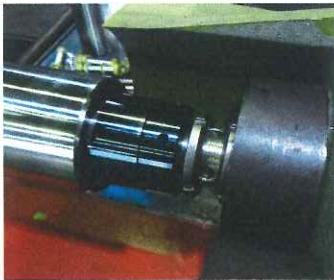
- 3) ジョイントボルトの接続部の汚れ等を洗浄して下さい。



- 4) 油分を除去したプランジャにローバルスプレーを吹きつけて下さい。



- 5) ジョイントボルトに新しいプランジャを右に回しながら止まるまで (25mm) ねじ込んで下さい。



- 6) ジョイントボルトを丸棒で固定し、新しいプランジャに引掛ピンスパナを掛け締めこんで下さい。



- 7) ジョイントボルトを丸棒で固定し、ベアリングナットに引掛スパナを掛け、右に回し締め付けます。



- 8) プランジャの外径にグリースを塗布して下さい。



9) シリンダ内のスパイラルパッキンを取り外すために開口部を上に向けて置きます。



10) パッキングランドを外し、中のスパイラルパッキンを出します。

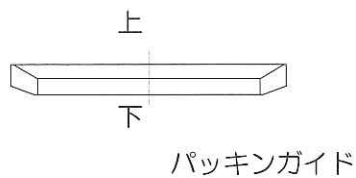


11) シリンダケースの内部を、きれいな水で洗浄し泥土や砂などを除きます。

12) シリンダケースのバルブ側を下にして全体を縦置きにし、下部に角材などを敷き安定させます。



13) リング状のパッキンガイドとシリンダケース内にグリースを塗布し、図のような向きシリンダ内に挿入して下さい。



14) Vプーリを手で回し左右のプランジャが同じ位置になるようにし、パッキングランドをプランジャに挿入します。



15) シリンダ部をギヤケースにボルトで接続します。(ボルトを締める前にテーパーピンをしっかりきかせ芯を出してください。)



16) ポンプベースにシリンダ部、ギヤケース部共に本締めをします。

17) スパイラルパッキンにグリースを塗布し切り口を180度反対にして、交互に4枚入れます。スパイラルパッキンが所定の位置に入るまでドライバなどで1枚ずつ丁寧に押し込み、最後はパッキングランドを入れ軽く締め付けてください。



18) スパイラルパッキンの挿入が完了したらパッキングランドが左右均等になるように調整して下さい。

(締め付ネット1. 5~2回転で約3~4mm程度締めこむことができます。)

締め付けネット：W1/2



※最終的なネットの締め付けは、送水時に漏れ具合を見ながら調節して下さい。
([7]運転操作 5.ポンプの始動の項 (P 12) を参照ください)

「作業工具」

引掛けスパナ：{φ50~φ55}

引掛けピンスパナ：{φ50~φ55}

2.バルブシートの点検と交換要領

- 1) チャンバを締め付けているナット (W1" 平41) を外してチャンバをとりま
す。 2) バルブボックスをとり、中のスチールボールを出します。



- 3) シリンダケース内のスチールボール
をとり出します。
スチールボール表面が著しく錆びてい
たり、凹凸が見られたりした場合は
交換をしてください。
- 4) バルブシートのシート面が磨耗した
り欠けたり、虫食い状態になってい
る場合は交換してください。



- 5) バルブシートの取り外しは、バルブシート引抜き器 (オプション販売) をご利用に
なると便利です。引抜き器のボルトをバルブシート内側のねじにはめ込んでプレー
トをかぶせ、平ワッシャを敷きナット (M30 平46) で締め付けてゆくとバルブ
シートが抜けます。

